

取扱説明書 もくじ

はじめに 1

1章 本製品の準備 6

- 1 使う前に確認する 6
- 2 各部の名称 - タブレットの外観図 - 7
- 3 電源を入れる/切る 13

2章 インターネット/困ったときは 19

- 1 インターネットを使うには 19
 - 2 トラブルを解消するまでの流れ 22
 - 3 Q&A集 23
 - 4 本製品の調子がおかしいときは 29
 - 5 本製品を初期状態に戻す - リカバリー - 31
 - 6 捨てるとき/人に譲るとき 41
 - 7 アプリケーションのお問い合わせ先 45
 - 8 サービス&サポートのご案内 47
 - 9 ご使用にあたってのお願い 55
- リカバリーチェックシート 59

詳しい使いかたは、『オンラインマニュアル』で説明しています。

本書では、本製品に用意されている機能の一部を簡単に説明しています。より詳しい説明や、本書で説明していない機能については『オンラインマニュアル』内の『活用編』を参照してください。『オンラインマニュアル』は、次の手順で起動できます。

① [スタート] ボタン () をタップする

② [オンラインマニュアル] をタップする








[このファイルを開く方法を選んでください。] 画面が表示された場合は、[Microsoft Edge] を選択し、[OK] ボタンをタップしてください。

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
本書や『安心してお使いいただくために』は、お読みになったあと、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

 危険	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っていると便利な内容を示します。
 役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
 参照	参照先を示します。 <ul style="list-style-type: none">● 本書内への参照の場合…「 」● ほかのマニュアルやヘルプへの参照の場合…『 』

*1 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2 軽傷とは、治療に入院・長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。

*3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

2 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

3 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows

Windows 10 HomeまたはWindows 10 Proを示します。

Office搭載モデル

Office Home and Business 2019、またはOffice Personal 2019をプレインストールしているモデルを示します。

Bluetooth[®]機能搭載モデル

Bluetooth[®]機能を搭載しているモデルを示します。

指紋センサー搭載モデル

指紋センサーを搭載しているモデルを示します。

顔認証センサー搭載モデル

顔認証センサーを搭載しているモデルを示します。

アクティブ静電ペン付属モデル

アクティブ静電ペンが付属しているモデルを示します。

USB Type-C™アダプター付属モデル

USB Type-C™アダプターが付属しているモデルを示します。

キーボードドック付属モデル

キーボードドックが付属しているモデルを示します。

参照▶『キーボードドック編』

薄型・軽量キーボード付属モデル

薄型・軽量キーボードが付属しているモデルを示します。

参照▶『薄型・軽量キーボード編』

4 Trademarks

本マニュアルで使用している商標について記述します。

- Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- Internet Explorer、Microsoft、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Miracast、WPA は、Wi-Fi Alliance の登録商標あるいは商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター クラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- デジタルアーツ／DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター／i-フィルターは、デジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- HDMI、HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth、Bluetooth ロゴは、Bluetooth SIG, Inc の登録商標です。
- USB Type-C™ は USB Implementers Forum の商標です。
- その他の記載されている社名・商品名・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。

5 お願い

- 本体の SSD にインストールされている、または付属の CD/DVD からインストールしたシステム (OS)、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows 標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体の SSD にインストールされている、または付属の CD/DVD からインストールしたシステム (OS)、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種 (型番) を確認後、次のサポート窓口に連絡してください。
 - ・ Windows パスワードを忘れたとき : dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口
 - ・ その他のパスワードを忘れたとき : dynabook あんしんサポート 修理相談窓口モデルによっては SSD に HDD パスワードを設定できますが、HDD パスワードを忘れてしまった場合は、SSD は永久に使用できなくなりますので、有料にて SSD を交換します。「その他のパスワード」の場合は、有料にてパスワードを解除します。その際、パスワードの種類によっては、お客様のデータが失われる場合があります。またどちらの場合も、身分証明書 (お客様自身を確認できる物) の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線 LAN の暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。

- セキュリティロック・スロットおよび接続するセキュリティケーブルは盗難を抑止するためのものであり、万が一発生した盗難事故の被害について、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター クラウド™」を使用している場合、パターンファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスタークラウド™」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。ウイルスチェックがまったく行われないう状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- SSDや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。SSDや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『保証書』は、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 ▶ お客様登録について『活用編 1章 4 お客様登録の手続き』

- 本書に記載しているURLのホームページを参照する際は、お使いのブラウザのワン ボックス（URL入力欄）にURLを入力して、ホームページを表示してください。

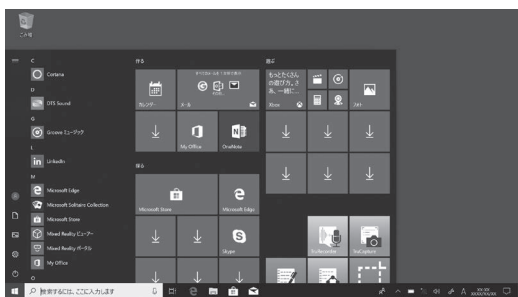
6 本書の記載について

- 本書に記載の操作手順は、本製品をタブレットのみで使用することを前提としています。

7 タブレットモードについて

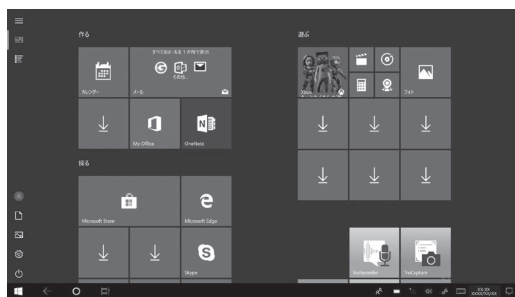
Windows 10では、「タブレットモード」がONかOFFかによって、表示される画面や操作方法が異なります。

<タブレットモードが「OFF」の場合>





(表示例)

<タブレットモードが「ON」の場合>



(表示例)

● タブレットモードのON/OFFを切り替える

- ① 通知領域の  アイコンをタップする
- ② [タブレットモード] () をタップして、ON/OFFを切り替える
[タブレットモード] をタップするたびに、ON/OFFが切り替わります。
ONになると、アイコンに色が付き、アクティブな状態になります。
OFFになると、アイコンがグレー表示されます。

■ 本書では

- ・「タブレットモード」をOFFに設定して操作する手順を説明しています。
- ・画面に指でタッチして操作する手順を説明しています。
- ・アクティブ静電ペン付属モデルの場合、一部、アクティブ静電ペンでのタッチ操作が、指でのタッチ操作と異なります。

1 使う前に確認する

1章

本製品の準備

1 忘れずに行ってください

■ 型番と製造番号を確認

本製品の裏面などに型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、dynabook あんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 記載位置について「本章 **2** 各部の名称」

■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は当社の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

■ 海外保証を受けるには

* 海外保証対象モデルのみ

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

ご購入のモデルが「海外保証（制限付）」の対象かどうかは、保証書を確認してください。

利用方法、保証の詳細は、「2章 **8** サービス&サポートのご案内」の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

2

各部の名称 -タブレットの外観図-

1章

本製品の準備

⚠ 注意

- 本製品を持って振り回さない

ご使用の際には、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

ほかの人にぶつかけたりして、けがをさせるおそれがあります。

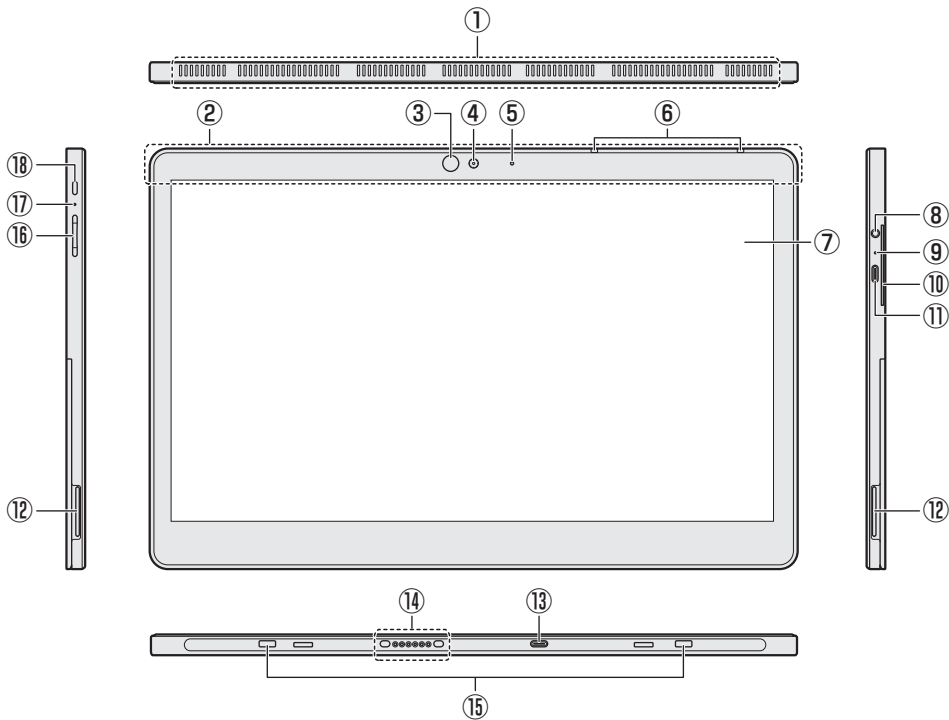
お願い 外観図について




- 本製品に表示されているコネクタ/LED/スイッチのマーク(アイコン)は最大構成(モデルによっては選択できない構成があります)を想定しています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。
- 本製品には磁石が内蔵されています。

参照▶ 詳細について「本節 **3** 磁石の内蔵について」

1

前面図



- ① 通風孔
- ② この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。
- ③ 赤外線LED
*顔認証センサー搭載モデルのみ
顔認証時に点灯します。
- ④ Webカメラ (フロント) / 顔認証センサー
写真や動画を撮影するためのものです。
さらに、顔認証センサー搭載モデルの場合、顔認証時のセンサーとしても使用します。
- ⑤ Webカメラ (フロント) LED
Webカメラ (フロント) の使用時に点灯します。
- ⑥ マイク
- ⑦ ディスプレイ (画面)
- ⑧ マイク入力/ヘッドホン出力端子
マイクやヘッドホン、ヘッドセットを接続します。
マイク入力時はモノラル音声となります。
- ⑨ DC IN/Battery LED
バッテリーの充電状態を示します。
参照▶ 「本章 3 - 2 - 電源とバッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する」
- ⑩ スマートカードスロット
*スマートカードスロット搭載モデルのみ
スマートカードをスマートカードスロットの奥まで挿入すると、カードが本体から数センチ出ている状態になります。
- ⑪ USB Type-C™ コネクタ (電源コネクタ)
充電時や、USB対応機器を接続するときに使用します。USB3.1 Gen1 (5Gbps、5V/3A) 規格に対応しています。また、USB Type-C™アダプター*1を使って、USB対応機器を接続することができます。
- ⑫ スピーカー
- ⑬  ドッキングコネクタ (キーボードドック用)
キーボードドックを接続できます。
- ⑭  ドッキングコネクタ (薄型・軽量キーボード用)
薄型・軽量キーボードを接続できます。
- ⑮ ドッキングガイド
- ⑯ 音量ボタン (音量大 (+)、音量小 (-) ボタン)
音量を調整します。
- ⑰ シャットダウンホール
本製品が応答しない場合は、電源を強制的に切ることができます。
参照▶ 「2章 3 - 2 - Q 青い画面 (ブルー画面) が表示され、操作できなくなった」
参照▶ 「2章 3 - 3 - Q 本製品が応答しなくなった」
- ⑱  電源スイッチ

* 1 USB Type-C™アダプター付属モデルのみ

お願い

■ 顔認証センサーについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照▶ 『活用編』

 **注意**● **通風孔に手を近づけない**

通風孔は、本製品内部の熱を外部に逃がすためのものです。

通風孔を通して外の空気を取り込んだり、内部の空気を排出したりすることで、本製品内部に熱がこもるのを防いでいます。

機器の動作中、通風孔から熱い排気が出ます。低温やけどを避けるため、通風孔に手を近づけたり、排気を体に向けたりしないでください。

また、通風孔をふさぐと本製品内部の温度が上昇して故障するおそれがあります。

● **本製品を使用するときは通風孔付近を持たない**

通風孔からの熱い排気でやけどをするおそれがあります。

通風孔部分を体から離すようにしてください。

● **本製品の表面や背面に長時間触れない**

機器の表面や背面は熱くなります。

低温やけどを避けるため、長時間ひざの上など直接肌に触れた状態で使用しないでください。

● **クリップなどを使う場合は、取り扱いに十分注意する**

先端のとがった部分でけがをするおそれがあります。

お願い■ **シャットダウンホールについて**

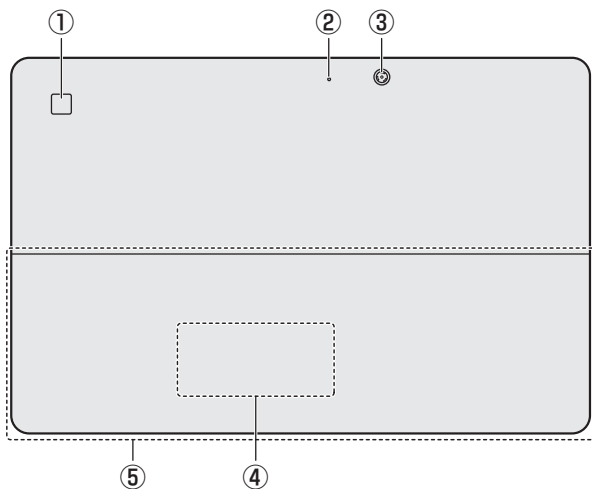
- 本製品が応答しない場合は、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）でシャットダウンホールを押してください。電源が切れます。

その際に保存されていないデータは消失します。

2 背面図

1 章

本製品の準備



※バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

① 指紋センサー（タッチタイプ）

* 指紋センサー搭載モデルのみ

② Webカメラ（リア）LED

Webカメラ（リア）の使用時に点灯します。

③ Webカメラ（リア）

④ 型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

キックスタンドを広げると、確認できます。

⑤ キックスタンド

タブレットを立てかけて使用できません。

⚠ 危険

● 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する

お客様ご自身でのバッテリーパックの取りはずしや交換はできません。

寿命などで交換する場合のお問い合わせ先は、「2章 8 サービス&サポートのご案内」を確認してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

■ 本製品のメモリについて

- メモリの交換・増設はできません。

■ 本製品の背面について

- 本製品の背面には、正規のWindowsであることを証明する、「Windows」というMicrosoftのラベルが貼ってあります。

はがしたり汚したりしないでください。

* Windows 10 Proの場合のみ

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「2章 9 - 1 本体について」

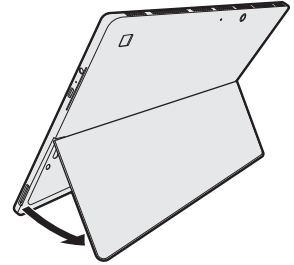
1 キックスタンド

本製品にはキックスタンドが搭載されています。

図のようにキックスタンドを広げると、タブレットを立てかけて使用できます。

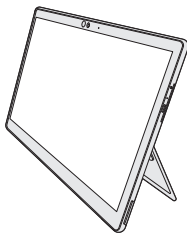
左右両側のスピーカーのくぼみに指をかけ、ゆっくりとキックスタンドを広げてください。

キックスタンドの角度は、目的に応じて変更できます（最大角度約150°）。



メモ

- キックスタンドは無理に広げすぎないようにしてください。



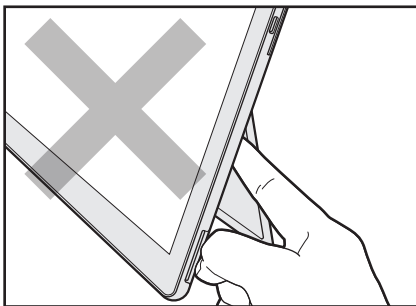
Webブラウジングなど、頻繁に画面のタッチ操作を行う場合に適しています。



絵を描いたり文字を書いたりするなど、ペンで入力する作業に適しています。

注意

- キックスタンドを閉じるときに、タブレットとキックスタンドの間に指を挟まない
けがををするおそれがあります。



3 磁石の内蔵について

次の図の枠で囲った部分には、磁石が内蔵されています。

1章

本製品の準備

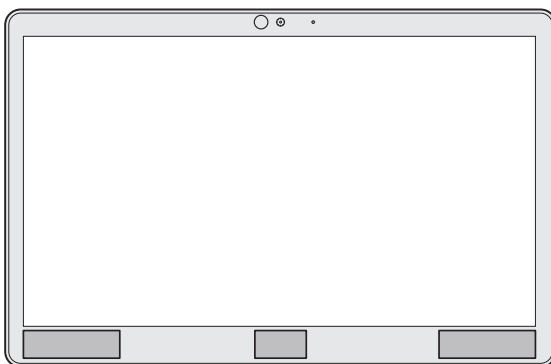
警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、本製品の磁石を近づけない
磁気によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

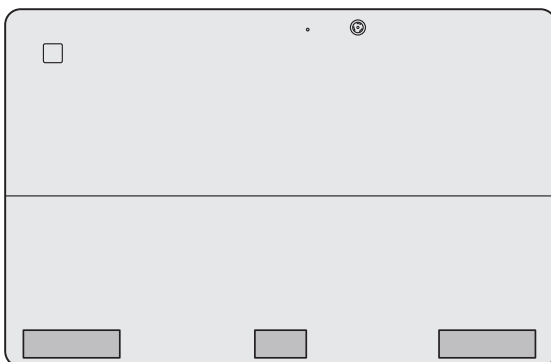
お願い 磁石について

- 磁気カードなどを利用した記憶媒体のデータを壊す可能性がありますので、本製品の磁石に近づけないようにしてください。

● 前面



● 背面



1 電源コードとACアダプターを接続する

 警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する
本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や（+）（-）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- 本製品にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する
順番を守らないと、ACアダプターのプラグが帯電し、感電またはけがをする場合があります。
また、ACアダプターのプラグを本製品のUSB Type-C™ コネクタ（電源コネクタ）以外の金属部分に触れないようにしてください。

 注意

- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。

お願い 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

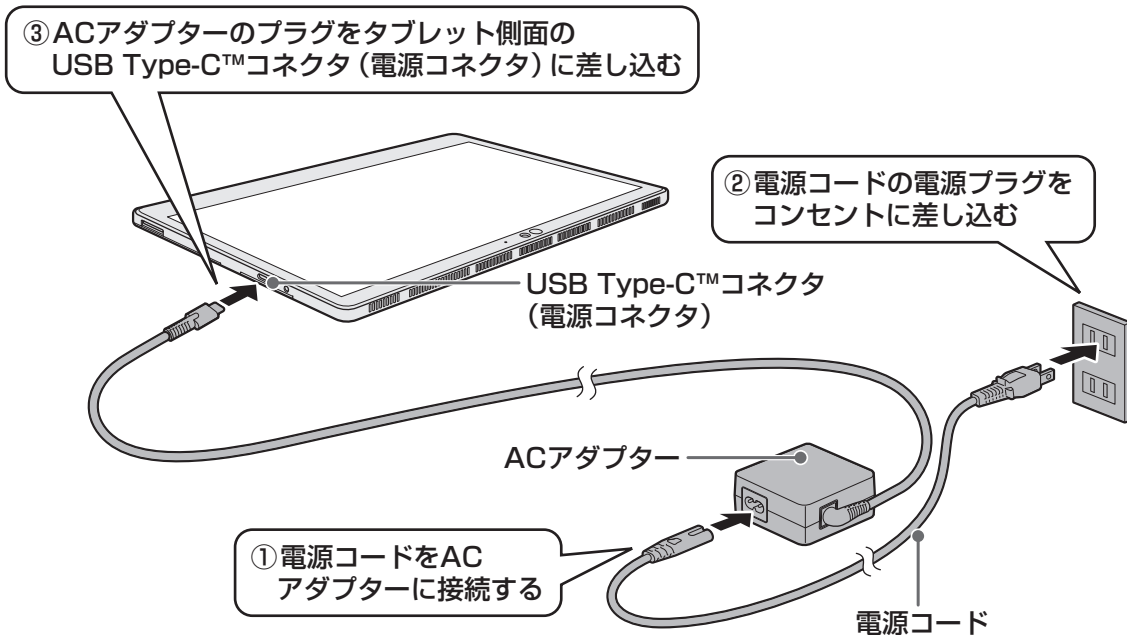
参照 ▶ 「2章 9 - 3 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて」

3 電源を入れる／切る

次の図の①→②→③の順で行ってください。

1章

本製品の準備



接続すると

DC IN/Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。DC IN/Battery LEDが白色に点灯したら、充電完了です。

参照 DC IN/Battery LED「本節 **2** - 電源とバッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する」

メモ

- バッテリー充電中でも本製品を使用することができます。

参照 『活用編 5章 バッテリー駆動で使う』

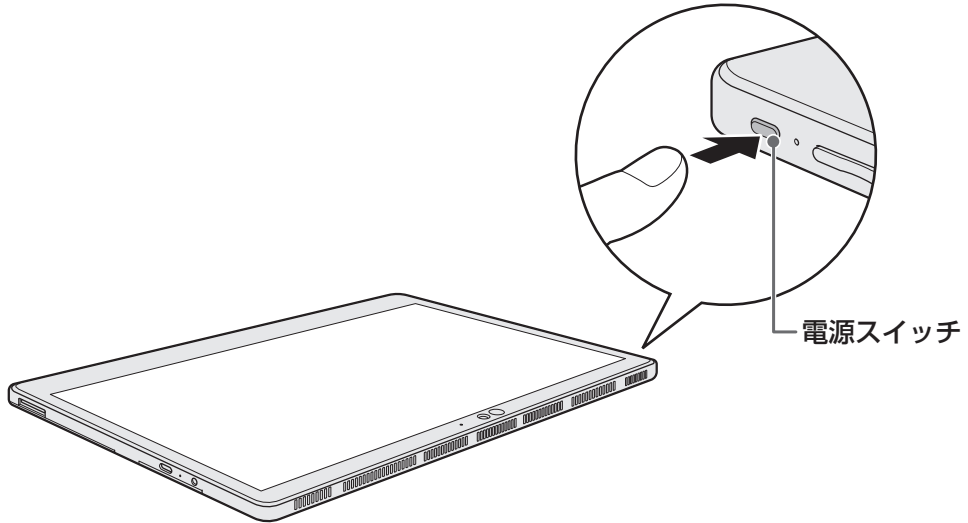
2 電源を入れる

お願い 電源を入れるときは

- ディスプレイ（画面）に触れたまま電源を入れしないでください。ディスプレイ（画面）が一時的に反応しない場合があります。

1 電源スイッチを押し、ロゴが表示されたら指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。



■ ロック画面が表示された場合

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、画面の下側から上に向かってスワイプしてください。次の画面に進みます。

■ 各種認証を設定している場合

次のいずれかの設定を行っている場合は、認証画面が表示されます。

- ・パスワードの場合：パスワードを入力し、**Enter**キー（**↵**）をタップしてください。
- ・PINの場合：PINを入力してください。
- ・指紋認証の場合：指紋センサーに指を当て、離してください。
- ・顔認証の場合：顔認証センサーの正面に顔を向けてください。

■ 複数のユーザーで本製品を使用している場合

表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、ユーザーを切り替えてください。

電源とバッテリーの状態をDC IN/Battery LEDで確認する

電源とバッテリーの状態はDC IN/Battery LEDの点灯状態で確認することができます。

1 章

本製品の準備

	状態	本製品の状態
DC IN/Battery LED	白色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電完了)
	オレンジ色の点灯	電源コードとACアダプターを接続している (バッテリー充電中)
	オレンジ色の点滅	充電が必要
	白色の点滅	故障の可能性がある 再度電源スイッチを押してください。点滅が続く場合、故障の可能性があります。dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご連絡してください。
	消灯	・電源コードとACアダプターを接続していない ・電源コードとACアダプターを接続しているが、本体の動作状況により、バッテリーが充電されない 上記のいずれにも当てはまらない場合は、バッテリー異常の可能性がありません。dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口にご連絡してください。

* 電源に関するトラブルについては、「2章 **3** Q&A集」を参照してください。

 **メモ**

- モデルによっては、ピークシフト期間中やeco充電モードで規定値以上充電されると、バッテリーへの充電は一時的に停止されます。

3 電源を切る

本製品を使い終わったとき、電源を切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照▶ スリープについて『活用編 2章 1-4 スリープ』

警告

● 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る

本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。

①通知領域の  アイコンをタップする

②[機内モード] をタップして、ONに切り替える

ONになると、通知領域に  アイコンが表示されます。


・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。

・ 電源を切った状態で待機中でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- SSDやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。
- 記録メディア保護のため、記録メディアを取りはずしてください。

1 [スタート] ボタン () をタップする


2 [電源] () → [シャットダウン] をタップする




(表示例)

Windows を終了したあと、本製品の電源が自動的に切れます。

メモ

- [スタート] ボタン () を長押しして、表示されるメニューから [シャットダウンまたはサインアウト] → [シャットダウン] をタップしても、電源を切ることができます。
- システムが操作できなくなり、電源を切ることができない場合は、電源スイッチを5秒以上押し、強制的に電源を切る (強制終了) ことができます。
強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になり、保存していないデータは消失します。

お願い 電源を切るときは

- 本製品に接続している機器 (周辺機器) の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け／取りはずし、BIOS セットアップの設定などを行うときは、以下の手順で電源を切ってください。
 - ① [スタート] ボタン () をタップする
 - ② [設定] をタップする
 - ③ [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
 - ④ [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をタップする
 - ⑤ [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

1 インターネットを使うには

インターネットを使うには、次のような流れで準備してください。

2章

インターネット／困ったときは

プロバイダーに加入する

プロバイダーとはインターネット接続の窓口となる会社のことです。会社によって使用料金やサービス内容が異なります。使用できるまでに数日かかる場合があります。

インターネットに接続するための回線機器と、本製品を接続する

インターネットへの接続方法によって接続する機器は異なります。

参照 無線LANで接続する

「本節 **1** 無線LANで接続する」、『活用編 3章 **1** LAN機能を使う』

ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの利用を開始する

インターネットやメールに添付されたファイルなどでコンピューターウイルスに感染する場合があります。感染すると、本製品が使用できなくなることがありますので、あらかじめウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定をしてください。

インターネットの設定をする

インターネットの設定をするときは、プロバイダーとの契約時に送られてきた資料などを参照してください。

ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのパターンファイルを更新する

パターンファイルを最新のものに更新してください。

参照 ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのヘルプ

メールの設定をする

メールを使う場合は、メールソフトの設定が必要です。

参照 「本節 **2** メールを使用するために」、『メールソフトに付属している説明書』、メールソフトのヘルプ

設定完了





メモ

- 本製品に用意されているウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定をする前に、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。日付と時刻が合っていないと、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。

1 無線LANで接続する

警告

- 心臓ペースメーカーを装着しているかたは、心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
- 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る
本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。
 - ・ 無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。
 - ① 通知領域の  アイコンをタップする
 - ② [機内モード] をタップして、ONに切り替える
ONになると、通知領域に  アイコンが表示されます。
 - ・ スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
 - ・ 電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い

- あらかじめ、次の説明を確認してください。
参照▶ 「本章 9 - 6 無線LANについて」
- 『活用編 付録 2 デイリーケアとアフターケア』に、セキュリティに関する注意事項や使用上の注意事項を説明しています。
無線LANを使用する場合は、記述を読んで、セキュリティの設定を行ってください。

1 通知領域の アイコンをタップする

* 通知領域にアイコンが表示されていない場合は、 をタップしてください。

2 [Wi-Fi] をタップして、ONに切り替える

ONにすると、アイコンに色が付き、アクティブな状態になります。

参照▶ 以降の無線LANの設定『活用編 3章 1 - 3 無線LANを設定する』

2 メールを使用するために


メールを使用するには、メールソフトでの設定が必要です。

メールソフトには、Windowsのメール機能や、Office搭載モデルの場合は「Outlook 2019」などがあります。

メールを送信・受信するためには、メールアドレスが必要になります。


メールアドレスは、プロバイダーなどのメールサービスに申し込むことで取得できます。

また、Microsoftアカウントでメールを使用することもできます。

Microsoft アカウントについては、タスクバーの検索ボックス () で、「Microsoft アカウント」と入力して検索してください。


参照 検索について『活用編 1章 1 - 1 - Windowsでわからない操作があったとき』

● Windowsのメール機能の起動方法

- ① [スタート] ボタン () をタップする
- ② [メール] をタップする

● 「Outlook 2019」の起動方法

「Outlook 2019」を使用するには、インターネットに接続して、ライセンス認証を行ってください。

- ① インターネットに接続し、[スタート] ボタン () → [Outlook] をタップする
初めて「Office」を起動した場合は、画面の指示に従ってライセンス認証を行ってください。
また、初めて「Outlook 2019」を起動したときは、「Outlookへようこそ」という画面が表示されます。必要に応じて、設定を行ってください。

「Outlook 2019」の使いかたについては、起動後、[ヘルプ] タブ → [ヘルプ] ボタンをタップして表示されるヘルプを参照してください。

メモ

- メールを送受信を行う前にウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトを設定することをおすすめします。

2

トラブルを解消するまでの流れ



トラブルが発生したときの解決手順を紹介します。

STEP1 本書の「Q&A集」から探す

本書の「Q&A集」では、トラブルが発生した場合の解決方法を説明しています。

参照▶ 「2章 3 Q&A集」

STEP2 『オンラインマニュアル』を検索してみる

- ① [スタート] ボタン () をタップする
- ② [オンラインマニュアル] をタップする
[このファイルを開く方法を選んでください。] 画面が表示された場合は、
[Microsoft Edge] を選択し、[OK] ボタンをタップしてください。
- ③ 各編を起動し、メニューバーの [設定など] () → [ページ内の検索] をタップする
検索ウィンドウが表示されます。

STEP3 サポートのサイトで調べる

PC総合情報サイト (dynabook) 「dynabook.com」 (<http://dynabook.com/>)
へ接続すると、各種サポート情報から解決方法を探すことができます。
「dynabook.com」では、「よくあるご質問 FAQ」、デバイスドライバーや修正
モジュールのダウンロード、ウイルス・セキュリティ情報などをご覧になれます。
サポート窓口や修理についても案内しています。

STEP4 それでもトラブルが解決しない場合は問い合わせる

- 本体のトラブルの場合
dynabook あんしんサポートにご連絡ください。
- OSやアプリケーションのトラブルの場合
本製品に用意されているOS、アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。
参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先『活用編 付録 1 お問い合わせ先』
- 周辺機器のトラブルの場合
各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。
参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属している説明書』

トラブルの解決方法をQ&A形式で説明しています。

ここに掲載しているQ&A集のほかに、『活用編』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『活用編』も参照してください。

1 電源

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、電源が入らない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

確実に電源スイッチを押してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう。または電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

次の対処を行ってください。

- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。また、通風孔をふさぐと、本体の温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔をふさがないでください。

A 本製品からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

- ① 電源コードとACアダプターを取りはずす
本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。そのままの状態、しばらく放置してください。
- ② 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
- ③ 電源スイッチを押し、指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。

参照▶ 電源コードとACアダプターの接続「1章 3 - 1 電源コードとACアダプターを接続する」

- ④ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチをさらに1回押す
- ⑤ 10秒程度待って、なにも反応しない場合は、さらに1回電源スイッチを押す
- ⑥ それでも電源が入らない場合は、電源スイッチを12秒ほど長押しして、指をはなす
- ⑦ 再度電源スイッチを押す
- ③～⑦の操作を行うと、内蔵時計がリセットされる場合があります。再度日付と時刻を設定してください。

以上の手順でも解決できない場合は、dynabook あんしんサポート 修理相談窓口に連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない**A** HDD/SSD以外を起動ドライブに選択した場合、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

次の手順で操作してください。

- ① システムが入っている記録メディアをセットする
- ② 電源スイッチを5秒以上押して電源を切る
- ③ 音量大(+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)
パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。
- ④ 起動したいドライブをタップして選択後、再度タップする

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある**A** バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

次の対処を行ってください。

- 本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電する
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

参照▶ 『活用編 5章 1 - 2』 バッテリーを充電する』

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる**A** 自動的にスリープまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間本製品を使用しないときに、自動的にスリープまたは休止状態にするように設定されています。

復帰させるには、電源スイッチを押してください。

2 画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを5秒以上押ししてWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本節 3 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、本製品をスリープや休止状態から復帰したとき、本体ディスプレイに何も表示されない

A テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。本製品の画面が表示されていた場合は、『活用編 6章 4 本製品の画面をテレビや外部ディスプレイに映す』を参照して、本体ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった

A テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

3 システム/SSD

Q 本製品が応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、本製品を再起動してください。

参照 ▶ 再起動『活用編 2章 1 - 3 再起動』

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、本製品を再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押ししてWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ/休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 電源スイッチを5秒以上押ししても強制終了できない場合は、シャットダウンホールを押して強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ/休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

参照 ▶ シャットダウンホール「1章 2 - 1 前面図」

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 ▶ 『アプリケーションのヘルプ』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションを本製品にインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 ▶ 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

4 タッチパネル

Q 電源を入れたあと、タッチパネルが反応しない

A タッチパネルに触れたまま電源を入れると、タッチパネルが一時的に反応しない場合があります。

タッチパネルに触れないで、しばらく待ってからお使いください。

5 メッセージ

Q 起動時に下記のメッセージが表示され、Windowsが起動しない

- **** Date and Time reset to default **** Press [F2] key to set Date and Time.

A 時計用バッテリーが不足しています。

電源コードとACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

- ① タッチキーボードから [F2] をタップする
- ② [System Time] をタップして選択後、再度タップする
- ③ 時間、分、秒それぞれの [+] または [-] をタップして、時刻を設定する
- ④ [OK] をタップする
- ⑤ [System Date] をタップして選択後、再度タップする
- ⑥ 月、日、年それぞれの [+] または [-] をタップして、日付を設定する
- ⑦ [OK] をタップする
- ⑧ [Save and Exit [F10]] をタップして選択後、再度タップする
- ⑨ [Yes] をタップする

設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。

タブレットが再起動します。

メッセージが表示されたまま1分以上経過すると、自動的に電源が切れます。

電源スイッチを押し、すぐに [F2] をタップしてBIOSセットアップを起動し、日付と時刻を設定してください。

設定しても内蔵時計が合わなくなる場合は、バッテリーの機能が低下している可能性があります。dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

Q 次のようなメッセージが表示された

- [Insert system disk in drive.Press any key when ready]
- [No bootable device - Please restart system]

A システム (OS) が破損、またはSSDの内容が消去された可能性があります。

電源スイッチを5秒以上押し、強制的に電源を切った（強制終了）あと、「dynabook リカバリーメディアクリエーター」で作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM（付属しているモデルのみ）を使って、本製品を初期状態に戻してください（リカバリー）。

以降は、「本章 5 - 5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」の手順④以降を参照してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

6 その他

Q SSDから本製品を初期状態に戻せなくなったときは

A SSDに搭載されている初期状態に戻すためのツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、本製品を初期状態に戻せなくなることがあります。

「dynabook リカバリーメディアクリエーター」で作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM（付属しているモデルのみ）を使って、リカバリーしてください。

参照▶ リカバリーについて「本章 5 本製品を初期状態に戻す」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて「本章 8 サービス&サポートのご案内」

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 「トラブルを解消するまでの流れ」のSTEP2へ進んでください。

本書の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照▶ 「本章 2 トラブルを解消するまでの流れ」

A 本製品のトラブルの場合は、dynabook あんしんサポートに連絡してください。

A OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先『活用編 付録 1 お問い合わせ先』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

本製品の動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

次の方法を実行してみる

■ **ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する**
ウイルスが検出されたら、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトで駆除できます。その際、パターンファイルは、最新のものに更新しておいてください。場合によっては、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトで駆除できないウイルスもあります。

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

購入後に追加で増設した機器が原因の可能性があるので、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、本製品の電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

▶ **参照** 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』
『活用編 6章 USB Type-C™アダプターの取り扱い』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

『活用編 9章 本製品の動作がおかしいときは』を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

■ システムの復元で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、本製品に問題が発生したときに、個人用のデータを失わずに本製品を以前の状態に復元するための機能です。

▶ **参照** 詳細オプション『活用編 9章 1 - 2 - 1 - 役立つ操作集』



メモ

- 購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバーを誤って削除してしまった場合は、アプリケーションやドライバーの再インストールを行うことをおすすめします。

▶ **参照** 『活用編 7章 4 アプリケーションをインストールする』

それでも改善しない場合

個人用ファイルを保持して、初期状態に戻す（回復）

OSに搭載されているトラブルシューティングのツールを使用すると、おもな個人用ファイルを消去せずに、本製品を初期状態に戻すことができます。

タスクバーの検索ボックス（)で、「初期状態に戻す」と入力して検索してください。

それでも改善しない場合

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照▶ 「本章 5 本製品を初期状態に戻す」
巻末の「リカバリーチェックシート」

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。SSD内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻ります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- SSDにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- dynabook あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

*¹ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード『活用編 8章 システム環境を設定する』

1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる など 参照▶「本節 2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windows セットアップまで行います）

初期状態に戻す

参照▶「本節 3 いくつかある初期状態に戻す方法」
「本節 4 SSDから本製品を初期状態に戻す」
「本節 5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」

Windowsのセットアップ 参照▶「スタートアップガイド」

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照▶「活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう」
「各機器に付属している説明書」

ウイルスチェック/セキュリティ
対策ソフトの利用の開始

参照▶「ウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトに付属している説明書」

インターネットの設定

参照▶「活用編 3章 インターネットやネットワークに接続する」

ウイルスチェック/セキュリティ
対策ソフトのパターンファイルの更新

参照▶ ウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトのヘルプ

Windows Update

参照▶「活用編 1章 使いはじめる前に」

dynabook サービスステーション
でソフトウェアのアップデート

参照▶「活用編 1章 使いはじめる前に」

メールの設定

参照▶「本章 1 - 2 メールを使用するために」

アプリケーションの
インストールと設定

参照▶「アプリケーションに付属している説明書」

データの復元

参照▶「本節 6 - バックアップしておいたデータを復元する」

2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- リカバリー手順と、巻末の「リカバリーチェックシート」を印刷したもの（本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合）
- リカバリーメディア（あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- リカバリーDVD-ROM（付属モデルのみ）
- USB Type-C™アダプター（付属モデルのみ、またはオプション）*¹
- キーボードドック（付属モデルのみ）*¹

*¹ USBフラッシュメモリや外付けのDVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアを使用する場合、USB Type-C™アダプターまたはキーボードドックが必要です。

- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）*²

*² DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアを使用する場合、外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）が必要です。

ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、SSDに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、必要な場合は、記録メディア（CD／DVDやUSBフラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

- [ドキュメント]（または [マイドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- インターネットの [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、SSDをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、SSDに保存されていたデータは復元できません。

指紋データを消去する

* 指紋センサー搭載モデルのみ

本製品を初期状態に戻すと、以前使用していた指紋による認証は行えません（アカウント名を同じ名称にしても、指紋データは継承されません）。また、初期状態に戻すと、以前使用していた指紋データの削除もできなくなります。必ず、初期状態に戻す前に指紋データを消去してください。

指紋データは、ユーザー（アカウント）ごとの消去が必要です。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（microSDメモリカード、CDなど）が、お手元にあることを確認してください。また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。

参照 「Office」のライセンス認証について『活用編 はじめに 4』

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。

ONになっていない場合は、ONに切り替えてください。

① 通知領域の  アイコンをタップする

② 【機内モード】をOFFに設定する

【機内モード】をタップするたびに、無線通信機能のON／OFFが切り替わります。

【機内モード】をOFFにするとアイコンがグレー表示になり、無線通信機能がONになります。

周辺機器を取りはずす

プリンターなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

『活用編 6章 USB Type-C™アダプターの取り扱い』

お願い リカバリーを行うときの注意

■ 周辺機器は接続しないでください

- リカバリーが完了するまでは、プリンターなどの周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- リカバリーの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- リカバリー中に入力が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。

もう一度表示するには、画面をさわってください。

画面をさわっても復帰しない場合は、電源スイッチを押してください。

3 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- SSDからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常はSSDからリカバリーをしてください。


リカバリーメディアからのリカバリーは、SSDのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、SSDからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 2 リカバリーメディアを作る』

 **メモ**

- Windows 10の回復機能を使って、本製品を初期状態に戻すこともできます。



① [スタート] ボタン () をタップ→② [設定] → [更新とセキュリティ] → [回復] をタップしてください。なお、回復機能でリカバリーを実行すると、「dynabook リカバリーメディアクリエイター」によるリカバリーメディアの作成ができなくなりますので、注意してください。回復機能でリカバリーを実行する場合は、あらかじめ「dynabook リカバリーメディアクリエイター」でリカバリーメディアを作成することをおすすめします。

4 SSDから本製品を初期状態に戻す


* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

① データを保存し、次の方法で電源を切る

1. [スタート] ボタン () をタップする
2. [設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

② 電源コードとACアダプターを接続する

③ 音量大 (+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。

④ [HDD Recovery] をタップして選択後、再度タップする

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順⑤に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。

⑤ [Yes] ([YES]) または [はい] をタップする

⑥ [トラブルシューティング] をタップする

⑦ [TOSHIBA Maintenance Utility] をタップする

⑧ [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑨ 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをタップする

- ⑩ **【初期インストールソフトウェアの復元】** をチェックし、**【次へ】** ボタンをタップする
 「ハードディスク上の全データの消去」は、本製品を廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照▶ 「本章 **6 - 2** SSDの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、**【キャンセル】** ボタンをタップしてください。

- ⑪ **【次へ】** ボタンをタップする

処理が開始され、**【しばらくお待ちください。】** 画面が表示されます。画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。

長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

- ⑫ **【終了】** ボタンをタップする

セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

この間は絶対に電源を切らないでください。

- ⑬ **セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う**

参照▶ Windowsセットアップ『スタートアップガイド』

5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

リカバリーDVD-ROMが付属していない場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 2 リカバリーメディアを作る』

あらかじめ、次の準備を行ってください。

- USB Type-C™アダプター（付属モデルのみ、またはオプション）を使用する場合は、本製品のUSB Type-C™コネクタに接続してください。

参照▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアでリカバリーする場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照▶ 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

* ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

メモ

- 操作を中断したい場合は、**【キャンセル】** ボタンをタップしてください。

① 電源コードとACアダプターを接続する


キーボードドックを接続している場合は、キーボードドックに電源コードとACアダプターを接続してください。

② リカバリーメディアをセットする

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。

参照▶ 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの使用方法
『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

③ データを保存し、次の方法で電源を切る

1. [スタート] ボタン () をタップする
2. [設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

④ 音量大 (+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。

⑤ 起動したいドライブをタップして選択後、再度タップする

リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目 ([USB ODD] など)、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目 ([USB Memory] など) を選択してください。

⑥ [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑦ 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをタップする

⑧ [初期インストールソフトウェアの復元] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

[ハードディスク上の全データの消去] は、本製品を廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、SSDのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、SSD上にある、すべてのデータが削除されます。

参照▶ 「本章 6 - 2 SSDの内容をすべて消去する」

「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをタップしてください。

⑨ [次へ] ボタンをタップする

処理が開始され、[しばらくお待ちください。] 画面が表示されます。

画面は、リカバリーの経過に従い切り替わります。

長い時間、同じ画面が表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、メディアを入れ替えるメッセージが表示され、リカバリーメディアを取り出せる状態になります。メディアの番号順に入れ替え、[OK] ボタンをタップしてください。

処理が完了すると、終了画面が表示されます。

⑩ リカバリーメディアの種類により次の操作を行う

■ DVD／ブルーレイディスクの場合

1. [終了] ボタンをタップする
自動的にリカバリーメディアを取り出せる状態になります。
2. リカバリーメディアを取り出す

■ USB フラッシュメモリの場合

1. USB フラッシュメモリを取りはずす
2. [終了] ボタンをタップする

再び画面が切り替わります。

セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。

この間は絶対に電源を切らないでください。また、キーボードドックを接続している場合、ディスプレイを閉じないでください。

⑪ セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 ▶ Windows セットアップ『スタートアップガイド』

6 Windows セットアップが終了したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定や更新を行ってください。インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で控えておいた設定情報を元に、行ってください。

その他必要に応じて、メールの再設定、購入後に追加したアプリケーションのインストール、データの復元などを行ってください。

参照▶ 詳細について「本節 1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ」

メモ

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後に再インストールをする必要があります。

参照▶ 『活用編 7章 4 アプリケーションをインストールする』

Office 製品の再インストールとライセンス認証

* Office 搭載モデルのみ

付属のリカバリーDVD-ROMからリカバリーした場合、Office 製品がインストールされません。Office 製品をインストールする場合は、マイクロソフトの「Office プレインストール版 (PIPC) 製品インストール」のサイトから再インストールしてください。「Microsoft Store アプリ版 Office」を「Microsoft Store」からインストールすることはできません。

Office 製品のインストールの詳細については、マイクロソフトへお問い合わせください。

SSD や、作成したリカバリーメディアからリカバリーした場合は、リカバリー後、Office 製品の再インストールは必要ありません。

いずれの場合も、Office 製品の初回起動時にライセンス認証が必要になります。

参照▶ 「Office」のライセンス認証について『活用編 はじめに 4 』

バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

本製品を捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、SSDの内容を消去してください。

指紋センサー搭載モデルの場合は、登録した指紋データを消去してください。

顔認証センサー搭載モデルの場合は、登録した顔データを消去してください。

1 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する

② ページ右の【ログイン】をタップする

③ 「Room dynabook」にて登録したメールアドレスまたは東芝ID (TID) と、パスワードを入力し、【ログインする】ボタンをタップする

※ システムの仕様上、ご登録メールアドレスにてログインできない場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝ID (TID) でログインしてください。

④ ページ右下の【退会】をタップする

⑤ 「Room dynabook」にて登録したメールアドレスまたは東芝ID (TID) と、パスワードを入力し、【退会する】をタップする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ 「Room dynabook」を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴や「Room dynabook」会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「Room dynabook (TID) 事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

● Room dynabook (TID) 事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00~17:00 (土・日、祝日、当社休業日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。技術的なご相談や修理に関するお問い合わせ、またリサイクルに関しては「本章

8 サービス&サポートのご案内」を確認してください。

2 SSDの内容をすべて消去する

本製品上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、本製品を廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、SSDに保存されているデータやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

* 本マニュアルを「オンラインマニュアル」でご覧の場合は、本マニュアルを参照しながら実行することはできません。必ず本項目のページを印刷してから実行してください。


SSDの内容を削除するには、SSDの消去機能、または作成したリカバリーメディア、または付属のリカバリーDVD-ROM(付属しているモデルのみ)を使用します。

お願い 本製品を譲渡する場合には

- SSDの内容を削除すると、SSD内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム(OS)やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 リカバリーメディアの作成『活用編 1章 2 リカバリーメディアを作る』

SSDの消去機能から行う方法

- ① データを保存し、次の方法で電源を切る
 1. [スタート] ボタン () をタップする
 2. [設定] をタップする
 3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
 4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をタップする
 5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする
- ② 電源コードとACアダプターを接続する
- ③ 音量大 (+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。
- ④ [HDD Recovery] をタップして選択後、再度タップする

「The Hard Drive Recovery Process has been selected.」などから始まるメッセージが表示された場合は、手順⑤に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順⑥に進んでください。
- ⑤ 「Yes」 (「YES」) または 「はい」 をタップする
- ⑥ [トラブルシューティング] をタップする

⑦ **【TOSHIBA Maintenance Utility】をタップする**

ツールの選択画面が表示された場合は、手順⑧に進んでください。

消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑨に進んでください。

[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順⑩に進んでください。

⑧ **【ハードディスク上の全データの消去】をチェックし、【次へ】ボタンをタップする**

消去方法を選択する画面が表示された場合は、手順⑨に進んでください。

[データの消去を開始します。] 画面が表示された場合は、手順⑩に進んでください。

⑨ **【標準データの消去】をチェックし、【次へ】ボタンをタップする**

モデルによっては【機密データの消去】項目も表示されますが、通常は【標準データの消去】を選択してください。【機密データの消去】は、より確実にデータを消去できますが、より時間がかかります。

[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。

処理を中止する場合は、【キャンセル】ボタンをタップしてください。

⑩ **【次へ】ボタンをタップする**

消去が実行されます。画面は、処理の経過に従い切り替わります。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

⑪ **【終了】ボタンをタップする**■ **リカバリーメディアから行う方法**

リカバリーDVD-ROMが付属していない場合、リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『活用編 1章 2 リカバリーメディアを作る』

あらかじめ、次の準備を行ってください。

- USB Type-C™アダプター（付属モデルのみ、またはオプション）を使用する場合は、本製品のUSB Type-C™コネクタに接続してください。

参照 ▶ 接続方法『活用編 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

『活用編 6章 USB Type-C™アダプターの取り扱い』

- 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を使用して、DVD／ブルーレイディスクのリカバリーメディアで消去を行う場合は、あらかじめ外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブ（市販品）を接続してください。

参照 ▶ 接続方法『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

* ただし、すべての外付けDVD／ブルーレイディスクドライブでの動作を保証するものではありません。

① **電源コードとACアダプターを接続する**

キーボードドックを接続している場合は、キーボードドックに電源コードとACアダプターを接続してください。


② **リカバリーメディアをセットする**

リカバリーメディアが複数枚ある場合は、1枚目からセットしてください。

参照 ▶ 外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブの使用方法

『DVD／ブルーレイディスクドライブに付属の説明書』

③ データを保存し、次の方法で電源を切る

1. [スタート] ボタン () をタップする
2. [設定] をタップする
3. [更新とセキュリティ] → [回復] をタップする
4. [PCの起動をカスタマイズする] の [今すぐ再起動] をタップする
5. [オプションの選択] 画面で [PCの電源を切る] をタップする

④ 音量大 (+) ボタンを押し続けながら、電源スイッチを押し続ける ([Boot Menu] 画面が表示されるまで)

パスワードの画面が表示されたら、パスワードを入力して **Enter** キーをタップすると、[Boot Menu] 画面が表示されます。


⑤ 起動したいドライブをタップして選択後、再度タップする

リカバリーメディアがDVD／ブルーレイディスクの場合は外付けのDVD／ブルーレイディスクドライブを示す項目 ([USB ODD] など)、リカバリーメディアがUSBフラッシュメモリの場合はUSBフラッシュメモリを示す項目 ([USB Memory] など) を選択してください。

⑥ [TOSHIBA Recovery Wizard] をチェックし、[次へ] ボタンをタップする

警告メッセージ画面が表示されます。

⑦ 画面の内容を確認し、[はい] ボタンをタップする

以降は、本節の「SSDの消去機能から行う方法」の手順⑧以降を参照してください。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は次のとおりです。

* 2018年10月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などが変更になる場合があります。

Excel 2019/Outlook 2019/PowerPoint 2019/Word 2019

マイクロソフト サポート

Office 製品についてご不明な点は、下記までお問い合わせください。
事情により、電話番号や受付時間などが変更になる場合があります。事前に下記サポート Web サイトもご覧ください。

●基本操作に関するお問い合わせ

フリーダイヤル : 0120-54-2244

受付時間 : 月曜～金曜 9:00～18:00、土曜～日曜 10:00～18:00
(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除く)

●サポート有効期間 : サポートライフサイクル期間内
※サポートライフサイクルについては、
<http://support.microsoft.com/lifecycle/search/> をご確認ください。

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office お使いになる前に』をご覧ください。

ウイルスバスター クラウド™ 90日版

ウイルスバスター™ サービスセンター

受付時間 : 9:30～17:30

TEL : 0570-008326
03-6738-6062 (IP 電話・光電話からのお問い合わせ)

E-mail : <http://tmqa.jp/r924/>

ホームページ : <http://tmqa.jp/toshiba/>

i-フィルター®

デジタルアーツ株式会社 サポートセンター

受付時間 : 10:00~18:00

(デジタルアーツ指定休業日を除く)

TEL : 0570-00-1334

E-mail : p-support@daj.co.jp

ホームページ : **【お問い合わせTOP】** <https://www.daj.jp/cs/support/multidevice/>
【お問い合わせフォーム】 https://www.daj.jp/ask_md/

月額版をお申し込みの場合、お申し込み初月が無償となります。

8

サービス&サポートのご案内

「PCサポートページ (dynabook)」 <http://dynabook.com/assistpc/pg>

* 2018年10月現在の内容です。最新情報はホームページをご覧ください。

当社のサポート窓口は、問い合わせたい内容や手段によって分かれています。次の表で相談内容や手段を選び、各問い合わせ先を示すマークを確認してから、以降のページで各問い合わせ先の説明をお読みください。

困ったときのご相談	手段				
	電話	メール	Web	訪問	携帯用Web
使いかたや操作方法がわからない	使いかた相談	PCオンライン	FAQ	訪問サポート	
夜間（18:00～21:00）に電話サポートを利用したい			サポート予約		
時間にとらわれず好きな時間に相談したい（24時間）		PCオンライン	FAQ		
遠隔支援サービスを利用した電話サポートを受けたい	遠隔支援サービス		サポート予約		
故障かどうか調べたい	修理		FAQ		
インターネットで修理の申し込みをしたい			PC i-repair		PC i-repair
インターネットで修理状況を確認したい					
海外から修理を依頼したい					
使いかたやトラブルの解決方法を自分で調べたい			FAQ		
自宅に来てトラブルを解決してほしい				訪問サポート	
本製品の調子が悪いので、本製品を預けて点検してほしい	点検		点検		
ウイルスに感染していないか確認・点検してほしい				訪問サポート	
本製品の中からデータを救い出してほしい	データ復旧				
本製品の設定を代わりにしてほしい	有料サポート		有料サポート	訪問サポート	
マンツーマンでレッスンを受けたい					

困ったときのご相談	手段				
	電話	メール	Web	訪問	携帯用Web
付属品の購入・サービスお申し込みのご相談					
お客様登録をしたい			Room dynabook		
取扱説明書を購入したい			取扱説明書		
電源コードを購入したい			購入窓口		
ACアダプターを購入したい					
メモリを購入したい* ¹					
バッテリーパック搭載モデルの場合、バッテリーパックを購入したい* ²					
バッテリーパック内蔵モデルの場合、バッテリーパックの交換を依頼したい* ²	バッテリーパック交換* ³				
保証期間を延長したい			有料サポート		
使用済み本製品の回収・リサイクルのご相談					
不要になった本製品を廃棄したい（個人）	リサイクル個人		リサイクル個人		
不要になった本製品を廃棄したい（企業）	リサイクル企業				

* 1 モデルによっては、メモリの交換・増設そのものができなかつたり、メモリの交換・増設を依頼する必要がある場合があります。

参照▶ 「1章 2 - 2 背面図」の「お願い」

* 2 充電機能が低下した場合の対処方法は、モデルによって異なります。
ご使用のモデルについては、『***をお使いのかたへ』を確認してください。

* 3 個人向けと企業向けでは、バッテリーパック交換の申し込み先が異なります。

■お電話でのスムーズな問い合わせのコツ


1. ご使用のPCの型番をご確認ください。型番は、製品に付属の保証書、「dynabook システム情報」、または本体底面／背面などの表示でご確認いただけます。

「dynabook システム情報」は、次の方法で確認できます。

【タブレットモードがOFFの場合】

① [スタート] ボタン () をタップ → ② [dynabook システム情報] をタップする。


【タブレットモードがONの場合】

① スタートメニューの左上の [すべてのアプリ] () → ② [dynabook システム情報] をタップする。

2. どのような症状が起きましたか？ エラーメッセージなどは表示されましたか？

3. その症状はどのような操作をしたあと、発生するようになりましたか？

4. 修理相談の場合は保証期間（保証書記載）をご確認ください。

5. 事前にお客様登録  (<http://dynabook.com/assistpc/pg/room1048>) をおすすめします。

■ 各問い合わせ先について *電話・FAX番号のお間違いにご注意ください。

使いかた
相談

dynabook あんしんサポート 使いかた相談窓口

使いかた、技術的な相談などの電話によるお問い合わせ窓口です。

1. お問い合わせの前に、お買い上げの製品を「Room dynabook」にご登録（お客様登録）ください。使いかた相談窓口のご利用には、「Room dynabook」へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照▶「Room dynabook」への登録方法『活用編 1章 4 お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円（税抜き、予定価格）
1件はお電話での回数ではなく、1つのご質問内容を1件といたします。1回のお電話の中に複数ご質問が含まれる場合、ご質問内容ごとに料金がかかります。
お電話をいただいた際には、まずご質問の概要を確認後、必ず料金を事前に提示させていただきお客様のご同意をいただいたうえでサービスを提供させていただきます。
なお、詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。
3. お電話いただく際には、「発信者番号通知」をお願いいたします。

[固定電話から] **0120-97-1048**（通話料無料）

[携帯電話から] **0570-66-6773**（通話料お客様負担）

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：**043-298-8780**
（通話料お客様負担）

受付時間：9:00-19:00（年中無休）

サポート
予約

dynabook 電話サポート予約サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/cb.htm>

お客様がホームページからご予約された時間帯（18:00～21:00）に、dynabook あんしんサポート担当者からお電話を差し上げて質問にお答えするサービスです。

1. サービスのご利用前（予約前）に、お買い上げの製品を「Room dynabook」にご登録（お客様登録）ください。
dynabook 電話サポート予約サービスのご利用には、「Room dynabook」へのご登録（お客様登録）が必要です。

参照▶「Room dynabook」への登録方法『活用編 1章 4 お客様登録の手続き』

2. ご購入日から5年経過後のお問い合わせは有料です。
ご購入日から5年間、サポート料金は無料でお問い合わせいただけます。ご購入日から5年経過後のご利用は有料になります。
 - ・ご購入日から5年以内のサポート料金：無料
 - ・ご購入日から5年経過後のサポート料金：1件あたり 2,000円（税抜き、予定価格）
 なお、本サービスは時間枠の都合上、ご予約1件につきご質問内容は1件とさせていただきます。
詳細は、有料サポート開始前に、ホームページ上でご案内いたします。



遠隔支援サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rm.htm>

電話サポートのスタッフがインターネット経由で、あなたのPC画面を確認しながら操作のお手伝いやトラブルを解決するサービスです。

2章

インターネット／困ったときは



dynabook 集中修理センター (dynabook あんしんサポート 修理)

故障診断や修理受付の電話相談窓口です。

[固定電話から] **0120-97-1048** (通話料無料)

[携帯電話から] **0570-66-6773** (通話料お客様負担)

海外からの電話・一部のIP電話など上記電話番号をご利用になれない場合：**043-298-8780**
(通話料お客様負担)

受付時間：9:00-19:00 (休業日：12/31～1/3)



dynabook 集中修理センター

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rc.htm>

個人・家庭向け国内仕様本製品の修理相談サービスです。

自己診断Q&A 本間に故障かわからないとき

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rsc.htm>

インターネットからの修理のお申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rir.htm>

修理状況の確認 (携帯からアクセス可能)

<http://pcrepair.jp>



修理申込後も携帯サイトや電話申込でサービスのご利用が可能です。左記のQRコードで携帯サイトにアクセスできます。

* 携帯サイトからの修理のお申し込みは取り扱っておりません。

■ 企業のお客様の本製品 (国内仕様) 修理依頼は

当社修理・サポートダイヤル

<http://dynabook.com/pc/business/service/support/repair/>

電話番号：0120-335-660 (フリーダイヤル)

※フリーダイヤルがご利用できない場合は 03-5144-3816 (有料)

受付時間：9:00～17:30 (土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く)

FAX：0120-666-782 (フリーダイヤル)



ILWサポートセンタ（海外保証・制限付）

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

ILW（International Limited Warranty）は、日本国内で購入された対象PCが、保証期間中に海外で故障した場合に、修理サービスを提供するものです。本サービスは、保証書にILWマークがついた製品が対象です。保証期間を過ぎた本製品については、有料修理サービスがございませう。

ホームページからの修理申し込み：<http://dynabook.com/assistpc/pg/ilw.htm>

電話番号：海外から 81-43-303-1062／国内から 043-303-1062（通話料お客様負担）

FAX：海外から 81-43-303-1068／国内から 043-303-1068（通話料お客様負担）

受付時間（日本時間）：10:00～19:00（土・日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

※サービスの形態・制限事項・注意事項やILW対象地域の詳細などはホームページでご確認ください。

ILW対象地域

（中国は、現地修理サービス。その他地域は、日本への引き取り修理サービス）

カナダ、アメリカ、アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストラリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポルトガル、モナコ、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、南アフリカ、オーストラリア、ニュージーランド、アラブ首長国連邦、韓国、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、中国、台湾、香港 ※準州などを除く

購入
窓口

電源コードやACアダプターなどの付属品の購入、取扱説明書の購入窓口

<http://dynabook.com/assistpc/pg/ac.htm>

取扱
説明書

当社製PC本体に同梱している説明書（マニュアル）の一部を別売りしております。

<http://dynabook.com/assistpc/pg/mn.htm>

FAQ

「dynabook.com」で公開しているよくあるご質問と回答

<http://dynabook.com/assistpc/pg/faq.htm>

PC
オンライン

Web（インターネット）を使ってご相談

<http://dynabook.com/assistpc/pg/web.htm>

サービスのご利用前に、お買い上げの製品を「Room dynabook」にご登録（お客様登録）ください。

参照 ▶ 「Room dynabook」への登録方法『活用編 1章 4 お客様登録の手続き』

リサイクル
個人

PCリサイクルのご相談（個人）

●PCリサイクルマークがある場合

「PCリサイクルマーク」のある製品は、当社での回収・再資源化のためのリサイクル料金が含まれています。

個人・家庭からの使用済み当社製パソコンを廃棄するときは、dynabook リサイクルセンターへお申し込みください。なお、お申し込み時には排出されるパソコンの型番、製造番号をご確認いただき、申し込みをお願いいたします。



リサイクル

<PCリサイクルマーク>

回収申し込み・お問い合わせ先：dynabook リサイクルセンター

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reh.htm>

電話番号：043-303-0200

受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：043-303-0202

出荷時に添付されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカー、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。ただし、周辺機器（プリンターほか）、マニュアル、CD-ROM媒体は対象外です。

回収・再資源化対象機器

対象（当社製パソコン）：ノートパソコン本体／デスクトップパソコン本体／ブラウン管（CRT）ディスプレイ／液晶ディスプレイ／ディスプレイ一体型パソコン

●PCリサイクルマークがない場合

2003年9月末日までに当社から出荷された「PCリサイクルマーク」のない「個人・家庭向けパソコン」については、回収・再資源化に関する費用を、排出の際にお客様に料金をご負担していただきます。

料金につきましては、dynabook リサイクルセンターまでお問合せください。



PCリサイクルのご相談（企業） dynabook IT機器リサイクルセンター

電話番号：045-506-3211

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）

FAX：045-506-3213（24時間受付）

●事業系（企業・法人）の使用済みパソコン 回収・リサイクルのホームページ

<http://dynabook.com/assistpc/pg/reb.htm>



dynabook あんしん点検（有料）の申し込み

<http://dynabook.com/assistpc/pg/at.htm>

PC全体の機能点検に加え、日常お手入れできないPC内部の清掃やウイルスに感染していないか点検を行います。



有料のPC遠隔レッスンサービス／PC遠隔代行サービス／dynabook 延長保証サービス

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pay.htm>

・PC遠隔レッスンサービス

個別指導で気軽にレッスン！年賀状、招待状作成のお手伝いをさせていただきます。

・PC遠隔代行サービス

周辺機器を買ったけど接続設定が面倒！信頼の技術力で、おうちにいながら遠隔設定いたします。

・dynabook 延長保証サービス

データ
復旧**dynabook データ復旧センター（有料）のご案内**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/rdata.htm>

突然起きるハードディスク故障や、操作ミスによるデータ消失などのトラブルから大切なデータを復旧いたします。＊お客様に著作権のないデータはサービス対象外となります。

dynabook データ復旧センター

論理障害・軽度の物理障害の際、読み取り可能なフォルダーをDVD-RやUSBメモリなどにバックアップいたします。

＊データ量が4.7GB以下の場合はDVD-Rに、4.7GB以上32GB以下の場合はUSBメモリに、32GB以上の場合はUSB接続型の外付けハードディスクドライブに格納いたします。

【個人のお客様】

電話番号：043-279-4701（通話料お客様負担）

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:30（日曜・祝日・当社指定の休日を除く）

【企業のお客様】

電話番号：0120-335-660（フリーダイヤル）

＊フリーダイヤルがご利用できない場合は03-5144-3816（有料）

受付時間：9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始・当社指定休業日を除く）

FAX：0120-666-782（フリーダイヤル）

訪問
サポート**dynabook 訪問サポート（有料）＊個人のお客様向け**

<http://dynabook.com/assistpc/pg/pcs.htm>

訪問スタッフがお客様先までおうかがいして、パソコンの接続設定やアプリケーションの設定を行います。

日本PCサービス株式会社

電話番号：0120-1048-49／受付時間：9:00～21:00（年中無休）

キューアンドエー株式会社

電話番号：0120-577876／受付時間：10:00～19:00（年中無休）

バッテリー
パック交換**バッテリーパックの交換（バッテリーパック内蔵モデルのみ）**

充電機能が低下した場合は、バッテリーパックの交換を依頼してください。

バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

●バッテリーパック交換（個人）

dynabook あんしんサポート 修理相談窓口にご連絡ください。

●バッテリーパック交換（企業）

営業担当にご連絡ください。

ILW制限事項・注意事項 (2018年10月現在)

最新版はホームページに記載しております。

<http://dynabook.com/assistpc/ilw/ilw3.htm>

■制限事項

- 対象地域により、サービス形態（日本への引き取り修理サービスまたは中国のみ現地修理サービス）が異なります。
- 本製品は日本国内モデルであり、世界各地で販売されている海外モデルとは仕様に相違があるため、海外現地の当社の関連会社ではお取り扱いしておりません。
- 対象地域はILW対象地域をご覧ください。記載地域以外は、ILW対象外です。対象地域は各地域の通関事情などにより、事前の告知なく変更となる場合があります。
- 現地では日本語でのご対応はできません。その現地の言語での対応となります。
- ILWは、本体の修理に限ります。オプション機器、周辺機器、消耗品（バッテリーパック等）、付属品（電源コード等）、リカバリメディア、サービス部品、操作説明書等の提供および販売は、ILW対象外です。
- ソフトウェアおよび技術サポートのご相談は受け付けておりません。ご相談の場合は、dynabook あんしんサポート（海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「使い方・設定など技術的な相談窓口」へご連絡ください。通信費はお客様負担となります。
- プレインストールソフトウェアのリカバリサービスは保証期間内でも有料扱いとなります。リカバリサービスをお申込みの場合、パソコンの往復輸送費とリカバリサービス代金はお客様負担となります。
- 海外でご使用になれない機能（TVの視聴・録画に関する機能、広域無線通信〔ワイヤレスWAN〕機能など）は、ILW対象外となります。
- お持ちの機種、修理部品、対応地域によっては、各地域の通関事情等により、修理完了までに時間がかかる場合があります。
また、ILW対象地域の一部地域では、法律により、輸出入が規制されている部品・役務等があります。規制に該当する場合は、ILW対象外となります。
- 各地域の通関事情により、現地通関事務局から指定された書類を求められる場合があります。その場合は、お客様ご自身による対応が必要となります。
- 中国での現地修理サービスでは、修理パソコンのピックアップサービスや出張サービスは行っておりません。お客様自身による現地修理会社へのお持ち込み、又は各輸送会社拠点へのお持ち込みとなります。
- お客様の過失により機器が故障した場合、火災・自然災害（落雷/水害等）により故障した場合等は、ILW対象外です。日本国内で有効な「保証書」に記載の無料修理規定に則り、有料修理となります。
- ILW対象の有料修理の場合、パソコンの往復輸送費等はお客様のご負担となります。
なお、保守部品（補修用性能部品）の保有期間内のILW対象機種とさせていただきます。
- ILW対象地域域外の場合、日本国内での修理となります。その場合は、お客様ご自身で輸入手続きの上、日本国内のご家族または知人を介して、dynabook あんしんサポート（0120-97-1048 ※海外からおかけになる場合は、81-43-298-8780）「修理に関するご相談窓口」へ修理依頼をお願いします。修理完了後の返却は、日本国内のみとさせていただきます。通信費はお客様負担となります。
- 記憶装置に記憶された内容は、故障や障害およびその他の原因にかかわらず、その損失損害については、いっさいその責任を負いません。修理をご依頼される際は、お客様ご自身で事前にデータのバックアップを行ってください。パソコンをお預かりした時点で、データは全てバックアップされたものと判断させていただきます。記憶装置が故障した場合等、インストールされているソフトウェアやお客様のデータは、消去されます。また、近年、盗難が多発しておりますので、パソコンを輸送する際は、発送する前にハードウェアパスワード等により、セキュリティの強化をしてください。輸送の際の盗難等にもなうパソコン内のデータ等に関する責任は、当社ではいっさい、負うことはできませんので、ご注意ください。

■注意事項

- ILWは当社製品の海外への輸出や持ち出しを保証するものではありません。海外へ輸出や持ち出しをする場合、「外国為替及び外国貿易法」や米国輸出規制を遵守する必要がありますので、ご注意願います。輸出国（お持ち込みになる国）によっては、米国輸出規制に従った輸出許可が必要です。このような場合は、お客様の責任に基づき、お客様自身で所定の手続きをしてください。手続きについては、税関等へお問い合わせください。
- 当社製品は、世界各国の規格を取得していないことから、お持ち込みのできない場合があります。製品の持ち出しおよびお持ち込みは、お客様の責任で行ってください。
- 地域によっては、パソコン使用時、周辺環境（他電子機器から出される電波、お使いのコンセント電圧、インフラ設備等）の影響を受ける場合があります。
- 電源コードは日本国内専用です。海外でパソコンを使用するときは、使用する国や地域の安全規格等に適合した電源コードを当該国でお買い求めになるなどして、お使いください。

本書で説明している機能のご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

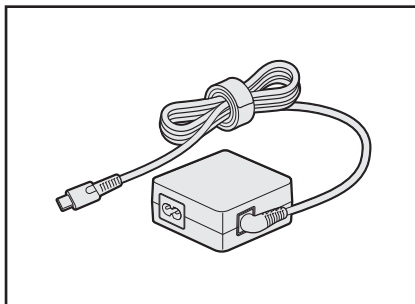
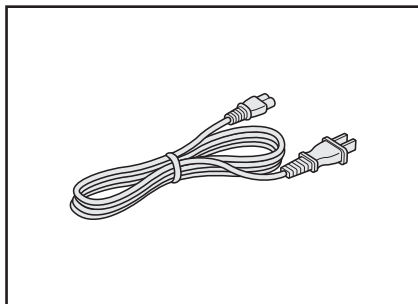
2 本体ディスプレイについて

□ 本体ディスプレイの取り扱いについて

- 画面を強く押さないでください。
- 画面は指で操作してください。
- 先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえついたりしないでください。
- 画面に保護フィルムを貼った場合、タッチ操作が正しく認識されないことがあります。
- 画面上に物を置かないでください。

3 電源コード、ACアダプターの取り扱いについて

- 電源コードやケーブルは束ねずに、ほどこいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードやACアダプターを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。



電源コード、ACアダプターは、購入されたモデルにより形状が異なります。

4 周辺機器について

本製品への機器の取り付け／取りはずしについて

- 取り付け／取りはずしの方法は機器によって違います。次のことを守ってください。守らなかった場合、故障するおそれがあります。
 - ・ ホットインサージョンに対応していない機器を接続する場合は、必ず本製品の電源を切ってから作業を行ってください。ホットインサージョンとは、電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしを行うことです。
 - ・ 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
 - ・ ほこりが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
 - ・ 極端に温度や湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
 - ・ 静電気が発生しやすい環境（乾燥した場所やカーペット敷きの場所など）では作業をしないでください。
 - ・ 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
 - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせてください。
 - ・ 本製品のコネクタにケーブルを接続した状態で、接続部分に無理な力を加えないでください。

5 バッテリーを使用するにあたって

バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの充電量に十分注意してください。

バッテリーを使いきってしまうと、作業中の内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、電源コードをコンセントに接続して、バッテリーを充電してください。

なお、バッテリー駆動での使用時間は、本製品の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。

6 無線LANについて

無線LANを使用するにあたって

- 無線通信の範囲を最大限有効にするために、次のことを守ってください。
 - ・ 無線LANアクセスポイントと本製品の間を、金属板などで遮へいしないでください。
 - ・ 無線通信アンテナの周囲に、本や厚い紙の束などの障害物を置かないでください。
 - ・ 無線通信アンテナの周囲を、金属製のケースで覆わないでください。
 - ・ 無線通信アンテナの周囲に、ラベルを貼り付けないでください。
 - ・ 無線LANで通信中は、無線通信アンテナ部分に極力触れないでください。
- Wake-up on Wireless LAN機能を使用する場合は、必ず電源コードとACアダプターを接続してください（Wake-up on Wireless LAN機能搭載モデルのみ）。
- Bluetooth®と無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LANのいずれかの使用を中止してください。
- 無線LANは無線製品です。各国／地域で適用される無線規制については、次の説明を確認してください。

参照 『活用編 付録 10 無線LAN／Bluetooth®について』

- 本製品の無線LANを使用できる国／地域については、「dynabook.com」を確認してください。

7 クリーナークロスについて

- クリーナークロスには、次の用途があります。
 - ・ ディスプレイ画面や指紋センサーが汚れたときの、画面やセンサーのふき取り（ディスプレイ画面や指紋センサー以外のものをふかないでください。）
 - ・ ディスプレイを閉じた際に、画面に傷や汚れがつくのを防ぐ
 - ・ 本製品を持ち運ぶ際、軽い衝撃などからのディスプレイ保護
- ディスプレイ画面が汚れたときは、クリーナークロスで汚れをふき取ります。ディスプレイには無理な力を加えず、軽くふき取ってください。クリーナークロスはきれいな状態でご使用ください。汚れた状態・ぬれた状態では使用しないでください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤などは使用しないでください。
- キーボードドックを接続した場合、ディスプレイを閉じたり、持ち運びの際には、次のように使用してください。
 - ① 本製品の電源を切る
 - ② クリーナークロスをキーボード上に敷く
クリーナークロスに折れがないように敷いてください。
 - ③ ディスプレイを静かに閉じる

8 技術基準適合について

- 瞬時電圧低下について

この装置は、一般社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

以下の項目のうち、ご購入のモデルの対象となる項目は、『活用編 付録 8 技術基準適合について』に記載されています。

- 電波障害自主規制について
- 「FCC information」について
- EU Declaration of Conformityについて

リカバリーチェックシート

本製品のリカバリーを行う際は、次の説明をお読みになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。 **参照** 各項目の詳細 本書の2章 **5**

1 リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
<input checked="" type="checkbox"/>	周辺機器（プリンターなど）をすべて取りはずす
<input checked="" type="checkbox"/>	2章 2 、 3 、『活用編 9章』をご覧ください、ほかのトラブル解消方法を探す
<input checked="" type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、本製品を以前の状態に復元する

2 リカバリーする前にすること

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① 準備するもの
<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーの手順と「リカバリーチェックシート」（本シート）を印刷したもの
<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーメディア（*メディアからリカバリーする場合のみ） リカバリーDVD-ROM（*付属しているモデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる <ul style="list-style-type: none">● [ドキュメント]、[ピクチャー]、デスクトップ上などのデータ● インターネットの [お気に入り] のデータ● メール送受信データ、メールアドレス● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）
<input checked="" type="checkbox"/>	③ 指紋データをすべて削除する（*指紋センサー搭載モデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	④ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する <ul style="list-style-type: none">● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）（* Office搭載モデルのみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 各種設定を確認する
<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの設定など
<input checked="" type="checkbox"/>	インターネット、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ 無線通信機能がONであることを確認する

3 リカバリーの実行と、その後にするこ

チェック欄	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	① リカバリーを行う（*リカバリー後は初期セットアップが必要）
<input checked="" type="checkbox"/>	② 周辺機器（プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	③ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトの利用を開始する
<input checked="" type="checkbox"/>	④ インターネットを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ ウイルスチェック／セキュリティ対策ソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う、dynabook サービスステーションでソフトウェアのアップデートを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ メールを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	⑧ バックアップをとったデータを復元する